

社会福祉法人 明徳会 広報誌

VOL.102

2019 JAN

Challenge News

特集

書き初め「今年の抱負」

コラム

障がいのある方の就職支援の取り組み



社会福祉法人 明徳会
SOCIAL WELFARE COMPANY
MEITOKUKAI

謹賀新年



理事長
樺嶋 潤一郎

新年のごあいさつ

社会福祉法人明徳会 理事長 樺嶋潤一郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

また、日頃から温かいご支援ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

昨年も色々なことがあり、一年間走り抜けたような感じがしております。昨年、春には熊本市障がい者相談支援センターの運営を受託し、中央区の水道町にセンターを設置し地域の皆様の相談支援をすることになりました。明徳会のミッションは、安心安全あらゆる福祉社会創造にチャレンジですが、相談支援事業はこれに直結していると感じております。今後もう少しでも皆様にお力になれるように積極的な活動を行ってまいります。

また、熊本県ブライト企業認定を受け、

働く職員がいきいきと働き続けられるよう労働環境や処遇の向上を図り、安心して働くことの出来る企業として認めていただきました。福祉の世界でも人材確保は最重要課題となっております。出来ることはなんでもやってみなければならぬと考えております。

さらに、12月には、新規事業の就労定着支援事業をゆめくらしワークス事業部でサービス開始しました。今後ますます期待される分野だと思っておりますので、一般就労で頑張られている方のお力になればと思います。

明徳会では、施設を開設して14年の月日が流れました。それだけ時が流れると悲しいお別れもあります。昨年は私の妹も含め3名のご利用者様が旅立たれました。寂しくなりましたが3名の方との素晴らしい出会いに心から感謝しております。また、ご家族の皆さんと、今後も良い関係が続けることが出来たらと思っています。

15年目の節目、組織として自らの存在価値を問われる時期になると考えます。スタッフも日々成長し、それぞれが責任とやりがいを持って職務にあたっています。地域やご利用者様へのサービスの向上を図ることはもちろんですが、そのためには法人全体として運営統制・調整などの独自のシステム構築

などにも必要となってくると考えます。常に謙虚に自己を振り返り、自己研鑽を積み個々も組織も成長し続けられるように着実に歩みを進めたいと思います。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



「ブライト企業」とは、ブラック企業と対極の企業をイメージする熊本県の造語で、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業のことです。





2019

書き初め「今年の抱負」

チャレンジめいとくの里



東 和宏さん

チャレンジめいとくの里 こもればいグループ

普段の発語は限られていますが、ご自分の名前が好きで、よく支援員に自分の名前を書いてほしいと紙を持って来られます。自分の名前を書いた紙が心落ち着くアイテムで宝物です。



「けんこう」

めいとくの里とご自宅で毎日、ウォーキングを頑張っています。今年は健康第一に過ごしていきたいです。



副島 珠希さん

チャレンジめいとくの里 ルアナグループ



「心機一転」

年号も変わり新たな年となる 2019 年! 清々しい気持ちで、より良い一年となるように頑張ります!

下田支援員

チャレンジめいとくの里 オーパスグループ





M・Yさん
オレンジハウス

「たいそう」
めいとくの里で「3B体操」を頑張っています。昨年は大会にも参加
しました。今年も積極的に体操を頑張る一年にしたいです。



私の目標の「うたのおにいさん」と書きました。夢
に向けて歌の練習を頑張ります！

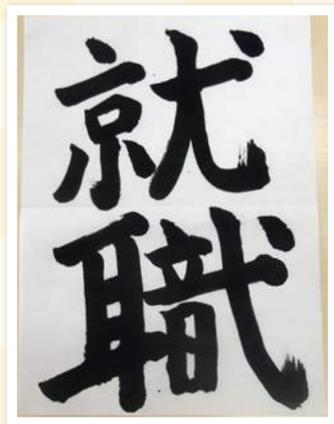
高浪 明務さん
ケア・ハピネス らふ



箕河原支援員
ケア・ハピネス らふ

「なんざんのじゅ」と読みます。生命等がいつまでも続く
ように、という意味です。明德会に関わる方すべてに向け
た言葉です。

詳しい成り立ちを知りたい方がいらっしゃれば、お伝えで
きればと考えております。ハピロバ、Rog Café があるの
で遊びに来られて下さい!!

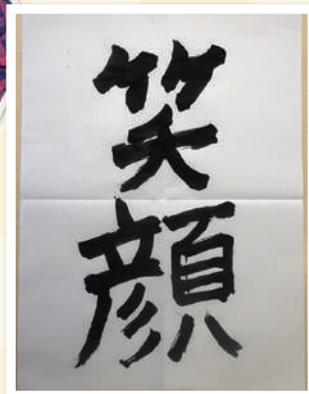


私は、一昨年の 11 月から利用を始めました。今年は、いよいよ本格的に就職活動が始まります。気を引き締めて頑張ろうと思っています。

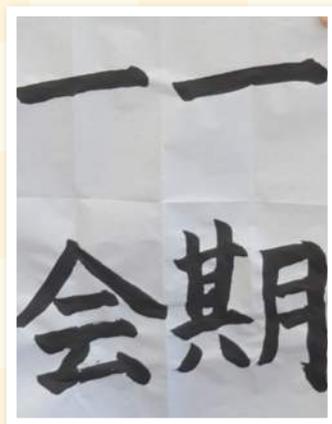


武田 佑一さん
ゆめくらしワークス 就労移行支援

私は、よく周りの人から「笑顔がいいね!」と言われます。自分自身が笑顔でいると周りの人も笑顔でいられるので、常に笑顔でいることを忘れずに就職先を見つけたいです。



Y・Mさん
ゆめくらしワークス 就労移行支援



相談支援に臨む際の意気込みを書きました。相談支援は一度きりの関わりではありませんが、「一期一会」と同じように出会いを大切にしています。



森田相談支援専門員
地域生活支援センター メイト

私たちが仕事の中で考えてることを綴ります

明徳会のコラム

障がいのある方の就職支援の取り組み

毎年10名を超える方がめいとくの里の就職準備支援を受講し一般企業に就職をされています。企業の障がい者雇用率は右肩上がり。平成30年4月からは身体・知的に続き、精神障がいのある方の雇用が義務付けられ、民間企業の障がい者雇用率は2.2%を求められるようになりました。

障害者の法定雇用率

事業主区分	法定雇用率	
	変更前	平成30年4月1以降
民間企業	2.0%	2.2%
国・地方公共団体	2.3%	2.5%
都道府県等の教育委員会	2.2%	2.4%

障がい者就労支援の環境

障がいのある方を送り出す就職サポートは、以前はハローワークや障害者職業センターの障害者雇用施策・特別支援学校の先生方などを中心に行われてきました。平成17年には福祉の法律が見直され、最大2年間の期間で就職準備を行う就労移行支援の誕生や精神医療分野から地域生活に向けた社会復帰への

取り組みなど、この約10年で様々な就職に向けた取り組みが広がる大きな変化がありました。

一方で雇用する企業側では、どのような配慮が必要なのか、生産性が期待出来るのか分らないなど障がい特性に対する不安、また、雇用した際に周りの社員と上手くやっていけるかなど会社全体の雇用管理に対する不安があり、雇用から遠ざかっていた所が多かったのではないのでしょうか。近年、企業は法令遵守や社会貢献を推進し、働き手不足の波もやってきて障がい者雇用にも関心を持って頂けるようになりました。現在では「どうすれば障がいのある方を雇い、一緒にやっていくことが出来るのか」と企業よりその不安を解消するためのご相談を受けるようになってきました。

自己実現に向けた取り組み

さて、求職者である障がいのある方は福祉サービスなどを利用し就職に向けて様々なトレーニングを行います。めいとくの里の就労移行支援では発達障がいのある方のご利用が増えてきました。これまでの学校生活や職場経験の中で、障がいの特性上どうしても苦手な事があり、社会の中で上手くいかなくて悩み

傷つき希望を失っている方もいらっしゃると思います。トレーニングを目標にして自分の課題を克服するイメージですが、ここではご自身の得意不得意などを整理し、出来ることを明確にしてどのように働く職場で活かすことが出来るかを準備していきます。



熊本日日新聞社にて職場見学を行う
就労移行支援事業利用メンバー

働く職場で受けられるサポート制度の情報などを伝える講座となっています。

双方の思いが一致して障がいのある方の働く機会は増えていきます。「社会の中で本人らしく働き暮らす」事が実現できるようになってきました。ぜひ、働く事への希望を持って、就労支援に携わる者にお伝えしていただければと思います。私達、熊本の就労支援関係者はそれぞれの垣根を越えて連携しサポートをする準備ができていますので、安心してご相談して下さい。

(文責) ゆめくらしワークス事業部
サービス管理責任者 中田

このような実情は障がいのある方やそのご家族、関係者になかなか届いていない部分があります。めいとくの里のゆめくらしワークス事業部では「安心して働ける企業があり、サポートもある」ことを知って頂けるようにゆめくらし出前講座を定期的

に実施しています。既に働かれている障がいのある方の体験談や企業の人事担当者より職場の求める人材像についての講話、



熊本県民交流会館パレアで行われているゆめくらし出前講座風景

ケア・ハピネス

第3回ハピネスランドの御礼

11月24日(土)にケア・ハピネスにて第3回ハピネスランドを開催いたしました。天候にも恵まれ、暖かい陽気の中、移動動物園のふれあいコーナーやケータリングカー等の模擬店を楽しんでいただくことが出来ました。かじおハピロバの壁画にもたくさんの絵を描いていただき、素敵な壁画になりました。かじおハピロバに来られた際は、是非ご覧ください。たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。また、来年も皆様に楽しんでいただけるようなイベントを考えていきます。

実行委員長 椿 智江



明德会

第14回めいとくフェスタの御礼

10月27日(土)第14回めいとくフェスタを開催いたしました。前日の夕方から雨が降り出しましたが、当日は、とても気持ち良い秋晴れとなりました。ほくぶ幼稚園の園児の皆さんの勇ましいよさこいソーランや、おひさまクラブの児童の皆さんの可愛らしい踊りや演奏に、会場は盛り上がりました。さらにゴスペルチーム KC クワイヤー様の圧巻のパフォーマンスに会場中が耳を傾け聴き入りました。模擬店も、全店舗完売と盛況のうちに終わりました。本当に沢山の皆様にお越し頂き、深く感謝いたします。

実行委員長 津田 益雄



MEITOKUKAI NEWS



地域生活支援センターメイト

相談支援事業所開所のお知らせ

昨年度まで熊本市北区植木町で相談支援事業を行っていた地域生活支援センターチャレンジですが、今年4月より熊本市障がい者相談支援センターの委託を受け、中央区水道町にて業務を行っております。

しかし北区やその周辺にお住まいの方々にも気楽にお立ち寄り頂けるような環境を残したいと考え、当法人グループホームオレンジハウス内に新たに相談支援事業所「地域生活支援センターメイト」を開所いたしました。皆さまが安心してサービスを利用したり、心配な事や困り事を気軽に相談したり出来る、そんな場所にしたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



お悔やみ

チャレンジめいとくの里に入所されておりました宮本純一様が平成30年9月4日午前7時36分にご家族に見送られながら永眠されました。ご家族のご心痛はいかばかりかとお察し申し上げます。

宮本純一様は、チャレンジめいとくの里の開所当時より入所され、ニコニコと柔らかな笑顔で過ごされ、誰からも愛される方でした。体調の悪化で入院となられ、ご利用者様・職員一同退院を待ち望んでおりましたが、本当に残念でなりません。謹んでご冥福をお祈りいたします。





障がい者支援施設

チャレンジめいとくの里

生活介護 施設入所支援 短期入所 日中一時支援

〒861-5503 熊本県熊本市北区明德町 707-1

Tel. 096-215-9101 Fax.096-245-2344 c.meitoku@meitokukai.jp

ゆめくらしワークス事業部

就労移行支援 生活訓練 就労継続支援 B 型

Tel. 096-215-9103 Fax.096-273-6343

meitokunosato-works@meitokukai.jp

障がい者グループホーム

ゆめくらし事業所 orangehouse

共同生活援助

〒861-5503 熊本市北区明德町 948-1

Tel. 096-223-5161 Fax.096-245-5951 yumekurashi-orange@live.jp

障がい福祉サービス事業所

ケア・ハピネス

生活介護

〒861-5512 熊本市北区梶尾町 1379-3

Tel. 096-245-6611 Fax.096-245-3399 happiness@meitokukai.jp

熊本市障がい者相談支援センター チャレンジ

相談支援事業

〒860-0844 熊本市中央区水道町 12-1 1-B 号

Tel. 096-312-3550 Fax.096-312-3551 soucha@meitokukai.jp

地域生活支援センター メイト

相談支援事業

〒861-5503 熊本市北区明德町 948-1

Tel. 096-227-6450 Fax.096-227-6451 mate@meitokukai.jp



明德会公式サイト

明德会フェイスブックページ

明德会インスタグラム

ゆめくらしワークスフェイスブックページ

めいとく日和 (職員ブログ)

<http://www.meitokukai.jp>

<https://www.facebook.com/meitokukai>

<https://www.instagram.com/meitokukai>

<https://www.facebook.com/yumekurashiworks>

<http://ameblo.jp/meitokukai>

明德会公式サイト

